



環境保全米通信



2025年3月発行
春号



伝統の技と〜手づくりの酒



蔵人による「五感」を駆使した麴造り

もくじ

- 1 第10回「オリザ賞」の表彰式開催!
- 2 東北電力主催「みやぎの環境保全米」のPR活動
- 3 祝 ユネスコ無形文化遺産登録
環境保全米を使ったお酒の紹介
- 4 「有機農業の日」特製弁当
農政局が24年度も販売
- 5 環境保全米通信 読者アンケートから



『みやぎの環境保全米』とは

宮城の自然豊かな環境を守るために、農業・化学肥料を県の標準的使用量の半分以上に減らし、自然と人間の力を合わせて生産されたお米です。

みやぎの「環境保全米」の取り組みは1992年のリオデジャネイロ地球環境サミットをきっかけに始まっており、SDGs (持続可能な開発目標) の実践そのものです。

バックナンバーもご覧下さい。

→
(JA宮城中央会の)
HPにリンク



アンケート応募でお米プレゼント!
詳細は最終面

1 第10回「オリザ賞」の表彰式開催!



JA 宮城中央会の佐野会長より表彰状を受け取る鳴子の米プロジェクトの上野代表



大賞 鳴子の米プロジェクト



準大賞 大郷グリーンファーマーズ



準大賞 宮城県加美農業高等学校

米を通じて農業振興に貢献した個人・団体を表彰するオリザ賞（JA 宮城中央会主催、河北新報社・東北放送共催）の表彰式が昨年12月10日、仙台国際センター（仙台市青葉区）で第41回 JA 宮城県大会に合わせて行われました。

大賞に選ばれた NPO 法人鳴子の米プロジェクト（大崎市）、準大賞の有限会社大郷グリーンファーマーズ（大郷町）と宮城県加美農業高等学校（色麻町）の代表者や生徒に対し、JA 宮城中央会の佐野和夫代表理事長より表彰状が手渡されました。

鳴子の米プロジェクトは、耐冷品種「ゆきむすび」を農薬や化学肥料を慣行の半分以下に減らして栽培。消費者に、田植えや稲刈りなどを体験してもらうことで農業の理解者を増やし、再生産できる価格で消費者が米を買い支えるシステムを定着させました。上野健夫理事長は「これからも、作る人、食べる人の顔が見える関係を大切にし、厳しい環境でも農業で生活できるということを確認させたい」と思いを語ります。

大郷グリーンファーマーズは、約 100 畝の農地で米、大豆、野菜などを栽培。環境に負荷をかけない資源循環型農業を実践し、稲作、大豆、野菜とバランスのとれた経営が高い評価を受けました。西塚忠元代表取締役は「今後も農薬削減の取り組みを進め、地域農業発展のために頑張っていきたい」と語りました。

加美農業高等学校は 2020 年に県内の農業高校で初めて JGAP（日本版の農業生産工程管理）を取得。22 年にはより高い水準の ASIAGAP の認証を受け「加美農米」のブランド化を目指しています。農業科 3 年で生徒総括リーダーの角田直優さんは「24 年の夏は猛暑で水管理が大変だったが、いい米ができた。自信を持って販売できる」と胸を張りました。

オリザ賞は、世界の米づくりを取り上げた河北新報連載「オリザの環」の趣旨に賛同した JA 宮城中央会が 97 年に創設し、3 年に 1 回表彰しています。今回、第 1 回より第 10 回まですべての回で審査員を務められました河北新報社の一力雅彦社長に感謝状が贈られました。

2 東北電力主催「みやぎの環境保全米」のPR活動



来場特典の環境保全米を受け取る来場者



ガラポン抽選会の特賞は環境保全米2kg!

安心・安全な「みやぎの環境保全米」は生産者だけではなく、消費者にたくさん食べていただくことで環境保全の循環が成り立っています。東北電力(株)宮城支店では「地域社会との共栄」の経営理念のもと、自社のイベント特典として積極的に「みやぎの環境保全米」を採用し、消費者となるお客さま向けにPR活動を行っています。2024年度は仙台市内2ヶ所、大河原町、富谷市、大和町、石巻市、登米市の県内7ヶ所でイベントを実施し、環境保全米のプレゼントの際にリーフレットやPRパネル等で説明を行うとともに、アンケートへのご協力もお願いしています。

来場者からは「お米選びが故郷の環境を守ることにつながるとは知らなかった。これからお米を買う時は緑色のマークを見つけて購入したい」「県民として誇らしく、素晴らしい取り組みだと思うので、消費することで応援

していきます」とのエールをいただきました。

また、環境保全米が県内の学校給食に採用されていることを知った小学生からは「明日からは給食の時、ご飯がもっとおいしく感じそうです。僕たちの給食のご飯は特別なお米だということを友達にも教えたい」との声が聞かれました。

さらに、12月にイオンタウン佐沼で実施したイベントでは、環境保全米の生産者の方にも多くご来場いただき、「東北電力で環境保全米のPRをしているんですね。県民のみなさんに環境保全米の取り組みについて理解してもらえることは生産者としても励みになるうれしい。これからもPRをお願いします」との声もありました。

東北電力の情報Webサイト「おでCafe」にも「みやぎの環境保全米」の特集記事が掲載されており、消費者へのPRにつながっています。

3 祝 ユネスコ無形文化遺産登録 環境保全米を使ったお酒の紹介

2024年12月5日にユネスコ無形文化遺産に「伝統的酒造り」が登録されました。「こうじ菌」を使った酒造り技術は気候や風土に応じて発展し、焼酎・泡盛、みりん等を生み出し日本人の食文化に大きく貢献してきました。環境保全米を使った「手づくりの酒」にこだわり、伝統的な技術のもとで丁寧に造り上げられたお酒を紹介いたします。



一ノ蔵山鹿仕込 特別純米酒



祥雲金龍 純米吟醸



一ノ蔵特別純米酒 大和伝



みやとめさんののんあるあまざけ

こちらは「伝統的酒造り」と同じく環境保全米と糀のみでできたノンアルコールの甘酒！糀に含まれる酵素がお米のデンプンをブドウ糖に分解して甘味が生まれます。小さなお子さんにも安心して召し上がっていただけます。



購入のお問合せ／株式会社一ノ蔵
〒987-1304 宮城県大崎市松山千石字大樺14番地
電話 0229-55-3322 (代表)

一ノ蔵ホームページ



購入のお問合せ／JAグリーンみやぎ登米
〒987-0601
宮城県登米市中田町石森字駒牽405番地の1
電話 0220-34-8990

4 「有機農業の日」特製弁当 農政局が24年度も販売



122食が売れた特製弁当

東北農政局が昨年12月6日、仙台市青葉区の庁舎内で、有機農産物を使った特製弁当を職員向けに販売しました。12月8日の「有機農業の日」に合わせた企画で、前年に続いて2度目。恒例行事に育っていきそうです。

販売したのは「ローストチキン弁当」や「有機野菜と国産鶏からあげのおむすび弁当」「三陸産銀鮭弁当」など5種類。宮城県産の有機栽培米や環境保全米、有機野菜などを使い、仙台市内の弁当店やおむすび店が用意し、事前に予約した農政局や東北地方環境事務所の職員が計122食を購入しました。

有機農業の日は、有機農業推進法が2006年12月8日に成立、施行されたことにちなみ、10年後の2016年に制定されました。

2024環境保全米通信冬号のアンケートにご意見をお寄せいただきありがとうございました。



5 環境保全米通信 読者アンケートから



Q1 興味を持った記事は?その理由も。 Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

Q1 七郷トライ田んぼ稲刈り体験
子どもと機会があれば今度ぜひ参加させていただきたい!

Q2 イベント等、一般参加の募集がありましたら取り上げてほしいです。(仙台市・42歳女性)

Q1 オリザ賞の受賞団体の決定
加美農業高校が仙台駅で販売活動しているのを見た、次の日にこの通信を手に入れました。高校生の頑張りは未来に希望がもてますね。

Q2 環境保全米と言っても、生産者や産地が詳しく明記されていないことが疑問です。(仙台市・41歳女性)

Q1 環境保全米が買える店、食べられる店
主人と出かけ、食事をすると、まずお米がおいしいお店が第一条件です。今度、食してみたいです。家が農家なので、おいしいお米は常にありますが、いろいろな生産者さんの取り組みにとっても興味があります。

Q2 豊かな大地と、清らかな水の農地を取り上げてほしいです。(加美町・49歳女性)

Q1 環境保全米が買える店・食べられる店
好きな店『レストランHACHI』が、環境保全米を使っていることに好感を持ちました。

Q2 環境によい米だと思いますが、農家さんの収益につながるのか疑問を持ちました。(登米市・58歳男性)

ご感想をお寄せください

アンケートをお寄せいただいた方には抽選で、環境保全米2キログラムを10名様にプレゼント!

Q1 興味を持った記事は?その理由も。 Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

●応募方法/次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。
●アンケートの回答 ●お名前 ●年齢 ●ご職業 ●ご住所 ●電話(FAX)番号
いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理しプレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

●応募締切/2025年3月31日(月) 消印有効 ※抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。

●応募先/NPO法人環境保全米ネットワーク事務局
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-16-3 JAビル別館5F
TEL:022-261-7348 FAX:022-261-7488
E-mail:okome@epfnetwork.org URL:http://www.epfnetwork.org/okome/



Webフォームからもアンケートが送れます。スマホ、PCからラクラク入力!
左側のQRコードを読み取るとジャンプします。

【アンケート記入例】

●アンケートの回答
Q1 _____
Q2 _____
●名前 保全米 太郎
●年齢 40才
●職業 会社員
●住所 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-16-3
●電話番号 022-261-7348